

遠山議員提出資料

平成 1 5 年 4 月 2 1 日

平成16年度 科学技術分野の重点事項 文部科学省

国が目指すべき姿

知の創造と活用により
世界に貢献できる国

国際競争力があり
持続的発展ができる国

安全・安心で
質の高い生活のできる国

文部科学省の基本方針

未来への投資

独創的・先端的基礎研究、国の存立基盤研究、創造性に富む人材の育成

経済活性化の推進

知的財産戦略・産学官連携施策、重点4分野における先端的研究、大学等と民間の技術力を結合した研究開発

重点的な取組

独創的・先端的基礎研究の推進

10～20年先を展望して戦略的に推進

- ・国立大学法人化等による独創的・先端的研究の推進
- ・競争的資金の拡充と制度改革

知的財産戦略・産学官連携の一層の推進

世界をリードするような知的財産の創出と実用化

- ・「大学知的財産本部」の創設・強化
- ・大学等の特許の支援強化
- ・研究成果の企業化促進
- ・知的クラスターによる科学技術駆動型の地域経済の発展

重点4分野の更なる強化

- ・先端的・革新的な研究の推進
- ・国際的競争力を持った研究の強化



国の存立基盤研究

地球環境保全、エネルギー安定供給、
災害対策等の観点から確実に推進



新たに強化すべき取組

安全・安心な社会を構築するための科学技術の推進

- ・サイバーテロや犯罪防止などセキュリティー技術
- ・高齢化社会に対応した先端医療研究
- ・自然災害・事故防止技術

先端研究基盤の整備

- ・最先端の研究を支える分析計測技術・機器等の開発
- ・国産の研究機器の活用の拡大

大学等と民間の技術力を結合した研究開発の推進

競争的資金の積極的活用により展開

ねらい

1. 世界トップレベルの研究者養成
2. 創造的・競争的研究環境の醸成
3. 社会・産業ニーズへの積極的対応
4. 将来を担う科学大好き少年少女の育成

科学技術創造立国を支える人材養成・確保

科学技術人材養成総合プログラム

- ・トップ養成の大学院重点支援
- ・多様な人材(若手・外国人・女性)の養成・支援
- ・新分野の人材養成・再教育
- ・初等中等教育における理科、数学教育の充実